

学力・学習状況調査（6年）の結果について

9月27日に6年生を対象にした学力・学習状況調査（福岡県悉皆調査）の結果が出ました。6年生の保護者の皆様には、12月にそれぞれのお子様の状況を示した個票をお渡ししておりますが、ここでは、西花畑小学校全体の結果を公表致します。まずは、学力調査の結果です。調査対象となった教科は、国語科と算数科の2教科です。また、それぞれ、A問題（主に知識）とB問題（主に活用）に分けられています。

【調査結果】

本校においては、国語のA問題、B問題ともに、
「全国平均と同程度である」との結果を得ました。
一方、算数においては、全国平均と比べ、A問題、B問題ともに、
「努力を要する」との結果でした。

【詳細分析】

国語Aを詳しく見てみると、漢字の読み書きは比較的よくできているものの、主語と述語の対応や与えられた文を言い切りの形に書き直す問題の正答率が低いという結果が出ています。また、国語Bでは、理由や意見を整理して書く記述式の問題に難があります。

算数Aを詳しく見てみると、計算等、技能の面ではよくできているものの、割合を求める問題や平行四辺形の面積を求める問題につまずいていることがわかります。また、算数Bでは、選択式の問題の正答率が比較的高いのに対して、記述式の問題の正答率が低いという結果が出ています。

【改善に向けて】

本校では、授業を補完する時間として、5時間目の授業の前の15分間を「花っ子タイム」と名付け、計算や漢字の習熟に取り組んでいます。その結果、漢字の読み書きや計算等においては、一定の成果をあげていると考えられますが、自分の考えを整理したり書いたりすることが十分にできていない点に留意し、今後の指導に役立てていかなければならないことを痛感いたしました。

今回の学力調査の結果を受け本校では、明らかになった課題をふまえて、各教科において自分の考えを書く活動に力を入れます。特に算数科においては、「見通し」をもたせて自力解決を行う時間を十分に確保し、筋道立てて考えを書かせる活動の徹底をはかっていきたいと思っております。また、3学期の終わりまでに理解が不十分だったり、技能が身に付いていない部分に光をあて、復習したり指導したりする時間を設定したいと考えています。